

千曲市復興計画策定委員会  
安全・安心なまちづくり部会 会議次第

日時 令和2年7月29日  
午後2時00分～

会場 千曲市役所 庁議室

1. 開 会

2. 部会長あいさつ

3. 会議事項

- (1) 市民アンケートについて（資料1）
- (2) 具体的な施策の検討について（資料2）
- (3) その他

4. その他

5. 閉 会

## 千曲市復興計画策定委員会 部会員名簿

### 安全・安心なまちづくり部会

(順不同、敬称略)

No.	構成	氏名	備考
1	策定委員	北原 盛義	千曲市区長会連合会
2	策定委員	松林 静子	千曲市赤十字奉仕団
3	策定委員	豊田 政史	信州大学工学部 水環境・土木工学科 准教授
4	策定委員	岡田 正	千曲市消防団
5	策定委員	大裕 昭彦	公募委員
6	千曲市復興本部	◎大内 保彦	総務部長
7	千曲市復興本部	竹内 司	企画政策部長
8	千曲市復興本部	○竹内 康	建設部長
9	千曲市復興本部	横林 伸一	消防長
10	千曲市復興本部	北澤 武彦	総務課長
11	千曲市復興本部	宮尾 憲夫	秘書広報課長
12	千曲市復興本部	塚田 勝雄	危機管理防災課長
13	千曲市復興本部	洞田 英樹	総合政策課長
14	千曲市復興本部	岡田 敏彦	市民協働課長
15	千曲市復興本部	臼井 義広	情報政策課長
16	千曲市復興本部	湯本 永一	建設課長
17	千曲市復興本部	小岩 成夫	都市計画課長
18	千曲市復興本部	吉池 光裕	上下水道課長

◎：部会長 ○：副部会長

## 安全・安心なまちづくり部会資料

## 【市民アンケート】

○設問

## 安全・安心なまちづくりについてお尋ねします

問 19 安全・安心なまちづくりのために重視する施策について教えてください。

## 【19-1】ハード対策について（3つまで○）

1. 居住地・農地等のかさ上げ	2. 河川の改修
3. 河床の浚渫（土砂等の取り除き）	4. 遊水地等の整備
5. 道路の整備	6. 避難所となる拠点整備
7. 排水機場等の整備	8. 治山事業などの土砂災害対策
9. 適切な森林の整備・保全	10. その他（ ）

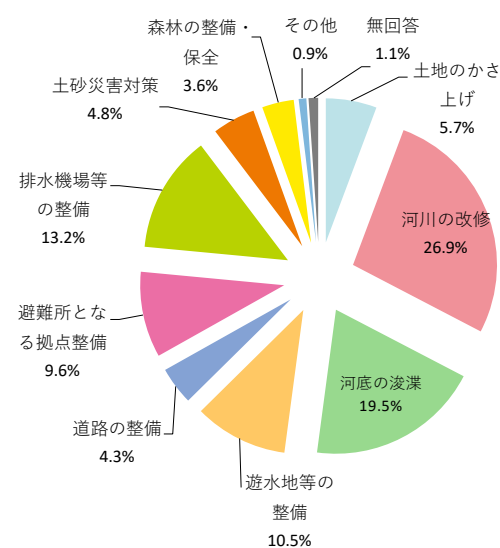
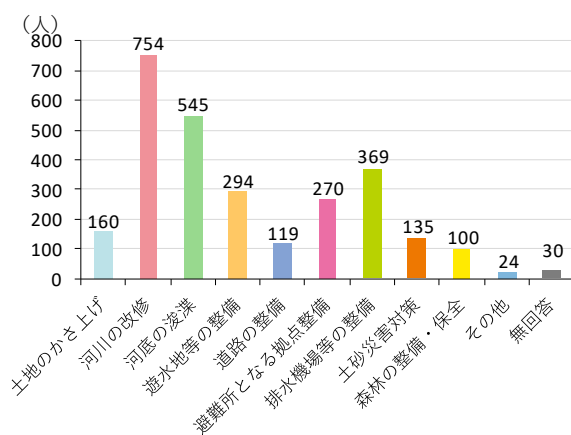
## 【19-2】ソフト対策について（3つまで○）

1. 自主防災組織等の地域防災体制	2. 防災教育や防災訓練の実施
3. 避難所への防災備蓄品の常備	4. 災害時の情報伝達手段の整備
5. 地域での声掛け・助け合い	6. 地域の防災リーダーの育成
7. 市職員の防災対応能力の向上	8. その他（ ）

○回答

・ハード対策

重視するハード対策について、「河川の改修 (26.9%)」が最も多く、「河底の浚渫 (土砂等の取り除き) (19.5%)」「排水機場等の整備 (13.2%)」「遊水地等の整備 (10.5%)」と 7 割が河川や治水に関する対策を望んでおり、「避難所となる拠点整備 (9.6%)」「居住地・農地等のかさ上げ (5.7%)」「治山事業などの土砂災害対策 (4.8%)」「道路の整備 (4.3%)」「適切な森林の整備・保全 (3.6%)」となった。



・ソフト対策

重視するソフト対策について、「災害時の情報伝達手段の整備 (25.0%)」と最も多く、次いで「避難所への防災備蓄品の常備 (18.3%)」「地域での声掛け・助け合い (17.3%)」「市職員の防災対応能力の向上 (13.7%)」「自主防災組織等の地域防災体制 (11.1%)」「防災教育や防災訓練の実施 (7.1%)」「地域の防災リーダーの育成 (5.2%)」となっている。

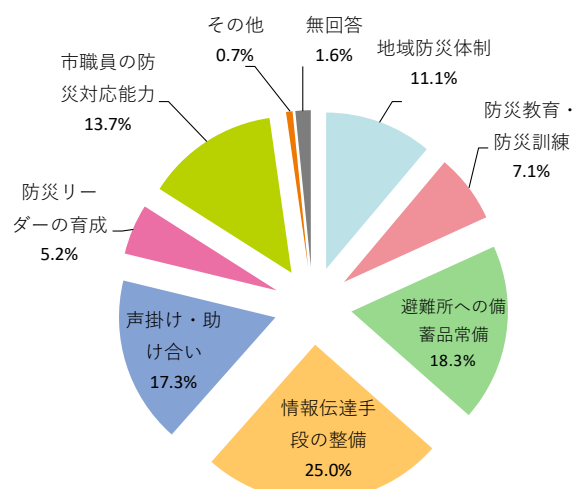
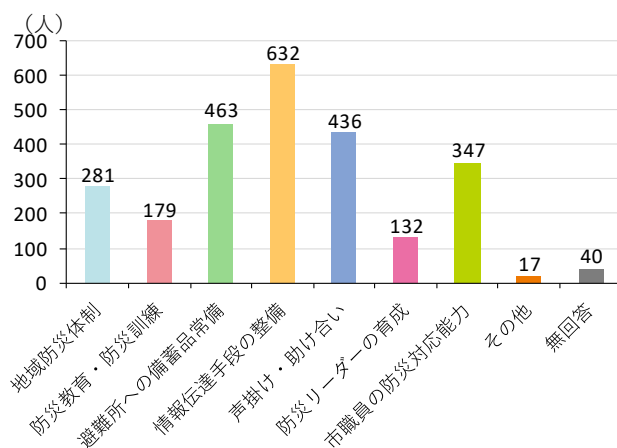
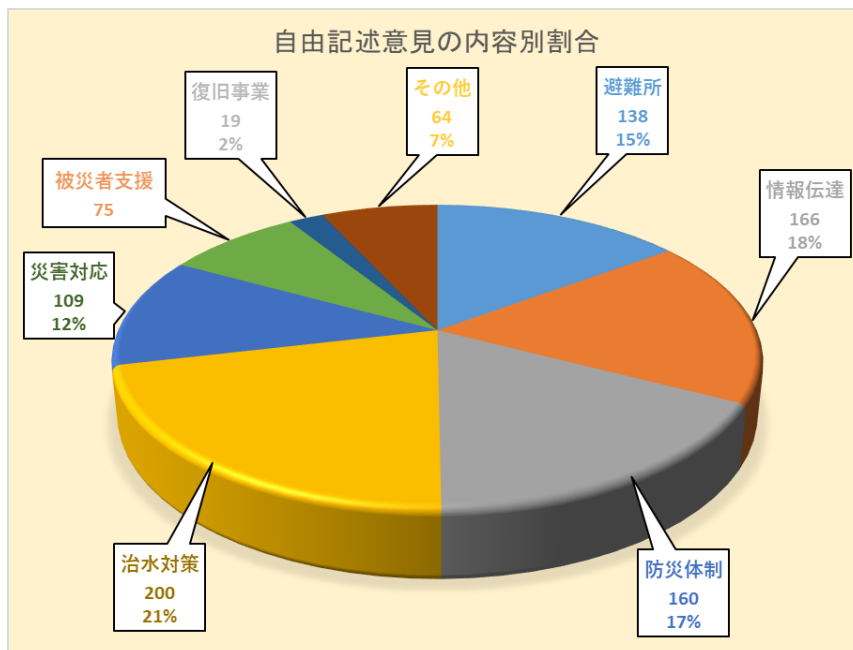


図 6-1-3 重視するソフト対策回答数

図 6-1-4 重視するソフト対策回答割合

## ○自由意見



※回答数 586 件  
延べ数 931 件

避難所	避難した場所で被害を受ける事があった。災害の種類別で避難所の見直しが必要。
	地震を中心に構築してきた防災対策も幅広く、多角的に対策を構築する必要がある。
	毛布、水などを用意してあると助かる。
	テレビを設置するなどして避難者に情報を知らせるシステムを整備して欲しい。
情報伝達	ボランティア情報や、市で物資等何を配ってくれるか早くに知りたい。
	市からの避難指示が分かりにくかった。メールなど、もう少し具体的で分かりやすい情報が欲しい。
	屋外放送のアナウンスが聞きとりにくい。雨風の中では何を言っているのかわからない。
	今後もこのような災害が発生する可能性は大きいと思われるため、市民に改めて被害想定をわかりやすく具体的に伝える事が大切。
防災体制	防災拠点を備えた「防災道の駅」を早急に作るべき。その際は、洪水ハザードマップの浸水想定区域外の安全な場所に作って欲しい。

	避難勧告・指示が出ているのに「これくらいなら大丈夫」という家が多かった。住民の意識レベルの改善が必須。
	一人ひとりが防災意識や知識をつけることが大切。市では防災について地域に入りこんで細かな対策や知識など発信して欲しい。
	近隣の方との日ごろの交流も大切で今後の災害時に相互協力の出来る地域となってゆくことが望ましい。
	地区で実施している防災訓練を火災中心でなくハザードマップによるその地区独自の具体的な内容にする。市からの出前講座もお願いしたい。
治水対策	閉鎖も含め、霞堤への対策をして欲しい。
	早急な千曲川の改修工事。土砂の取り除き等。遊水池の確保。
	ポンプ場の整備をして欲しい。
	浸水した原因を明確にし、情報をオープンにして欲しい。
	同じ浸水が発生しないように、短期的、長期的な対策を確実に実行して欲しい。
	田・畑が年々減っているため保水（貯水）できる場所が減少している。人口増も重要だが、宅地開発には行政も深く関与すべき。
	土地購入前にリスクがある事を知らせる必要を感じる。
災害対応	有事の際の対応マニュアルの策定と職員の人材育成（防災関係）を望む。
	罹災証明書の発行の遅れがストレスとなった。市職員の災害発生後の流れについてもう一度検討して欲しい。
	避難場所に駐車場がない。近くのお店の駐車場などを使えるように平常時から千曲市と連携がとれていると良いと思う。
	書類の提出が多すぎるので簡易にして欲しい。
	支援金・義援金などの振込口座番号の提出を再度求められたが、役所内部署の連携が悪いためではないか。

(安全・安心なまちづくりに関わる意見のうち多数意見を抽出)

## 具体的な施策（各課回答集計）

基本方針	施策	主な取り組み	具体的な施策	概要	担当課
2 安全・安心なまちづくり	1 災害に強い社会基盤の整備	1 治水対策	河川における対策	河川改修事業	建設課
				越水の原因究明	建設課
			流域における対策	雨水排水規制	建設課
				雨水貯留施設等の整備	都市計画課
			排水機場の整備	農林課	
		2 避難所の見直し	避難所、避難場所の充実	備蓄品の拡充と災害種別を踏まえた避難所等の周知	危機管理防災課
			感染症対策をふまえた避難所の設置	新型コロナウイルス感染症対策をふまえた避難所の設置	危機管理防災課
		3 防災拠点の整備	地域防災拠点整備の検討	防災道の駅など災害時に避難、支援の拠点となる施設の整備を検討する。	総合政策課
		4 住まい方の工夫に関する取組	住まい方の工夫に関する取組	立地適正化計画における防災指針の作成	都市計画課
				水害に強い住まいの周知・普及促進	建設課
	2 災害に対する体制の整備	1 防災意識の向上（自助）	防災意識の向上に関する取組	千曲市防災ガイドブックの改訂、全戸配布	危機管理防災課
				マイタイムラインの普及・啓発	危機管理防災課
		2 地域防災の見直し（共助）	地域防災力の向上	区、自治会、自主防災組織等への出前講座の実施	危機管理防災課
				学校での避難確保計画の作成と避難訓練の推進	教育総務課
				災害時住民支え合いマップの促進	高齢福祉課
		3 行政の災害対応力の強化（公助）	情報伝達手段の強化	防災行政無線の一部デジタル方式への移行	危機管理防災課
				避難所や要支援者、要配慮者世帯への戸別受信機配備	危機管理防災課
				メール配信サービス等情報提供体制の整備	危機管理防災課
			市職員の災害対応力の強化	職員向けの研修・訓練により災害対応力の向上を図る	危機管理防災課
			災害時応援協定等の締結	官民間問わず災害時の応援協定を締結し、迅速な応急復旧活動体制を構築	危機管理防災課
被災者支援システムの導入	被災者情報と住民情報システムの連携	情報政策課			